

2017年ニューヨーク リミテッド・エディション



5531モデル

(前ページ写真も)パテックフィリップ初のワールドタイム・ミニット・リピーター。時、分針の示す現在の現地時刻をゴングの音の組合せで知らせる、特許取得の新しいグランド・コンプリケーション機能搭載。ローズゴールドのケース(直径40.2 mm)とスライドピースに手仕上げのクルー・ド・バリ装飾。文字盤

には昼間(限定製作5個)または夜間(限定製作5個)のマンハッタン高層ビル風景をクロワソネ七宝で描く。24タイムゾーンの昼夜を示す24時間表示リング。合計10個の限定製作。



5230モデル

このケース径38.5 mm、ホワイトゴールド仕様のワールドタイムは、300個の限定製作である。マンハッタンスカイラインをエンボス加工により描いたブルー・オーバーリン文字盤。夜光付ゴールド植字数字。サファイヤクリスタル・バックに「Patek Philippe New York 2017」の刻印入り。



5522モデル

パテックフィリップ初期のバイロット・ウォッチからインスピレーションを得た、600個限定製作のステンレススチール・モデル。直径42 mmのケースにキャリバー 324 Sを搭載。ブルーの塗装文字盤に夜光付ゴールド植字数字を配し、ケースバックに「Patek Philippe New York 2017」の刻印入り。



7000/250モデル

ハイジュエリー・レディス・ファースト・ミニット・リピーター。直径33.9 mmのホワイトゴールド仕様オフイサーケース。ベゼルにダイヤモンドがフラム・セッティングされている。3個のみの限定製作。青七宝文字盤。2ゴング・ミニット・リピーターを駆動するキャリバー R 27 PSを搭載。



7130モデル

このケース径36 mm、ホワイトゴールド仕様の婦人用ワールドタイムは、ベゼルに62個、ピンバックルに27個のダイヤモンドがセッティングされている。75個の限定製作。キャリバー 240 HUを搭載。ケースバックに記念刻印入り。マンハッタンスカイラインをエンボス加工により描いた文字盤を備える。



7130モデル

ローズゴールド仕様の婦人用ワールドタイム。75個の限定製作。ホワイトゴールド・モデルと同じく、24タイムゾーンの昼夜を示す24時間表示リングを備える。いずれのモデルもブルー・オーバーリン文字盤にゴールド植字数字を配し、ケースバックに記念刻印入り。



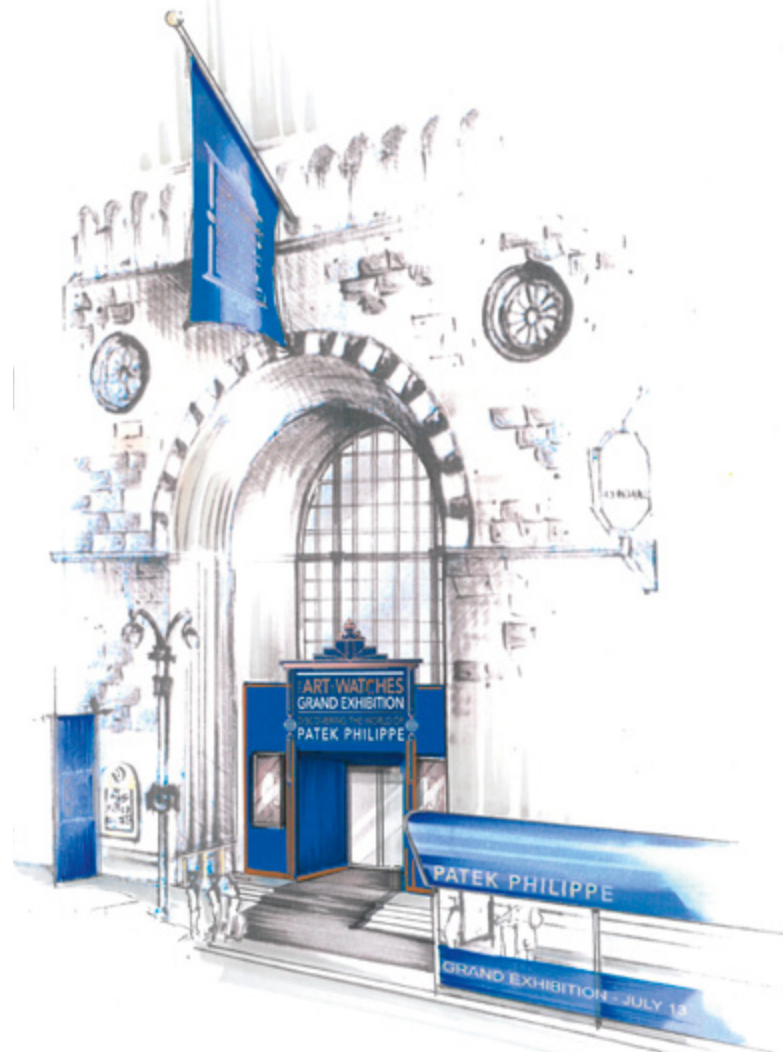
7200/50モデル

ケース径34.6 mm、ホワイトゴールド仕様、オフイサータイプの婦人用カラトラバのホワイト・マザー・オブ・パール文字盤を備えたバージョン。75個の限定製作。ダイヤモンド・インデックス。ケースバックに「Patek Philippe New York 2017」の刻印入り。きわめてスリムなケースに自動巻ムーブメント、キャリバー 240を搭載。



7200/50モデル

婦人用カラトラバのブルー・マザー・オブ・パール文字盤を備えたバージョン。75個の限定製作。スリムなホワイトゴールド・ケースとオフイサータイプの直線ラグにより、シンプルでエレガントなスタイルのタイムピースとなっている。



地上最大のショー

パテック フィリップのウォッチアート・グランド・エグジビションは、長年にわたり、同社の誇る豊かな歴史と美しい工芸芸術を展示する、重要なショーケースとなってきた。7月にニューヨークで開催された最新のイベントでは、絢爛たるショーと共に、限定製作モデル、および希少なハンドクラフト・モデルのいくつかが発表された。

文 サイモン・ド・バートン
翻訳 小金井 良夫

このイベントは驚異的な成功を収めた。それから25年以上の後、やはりテキサス州のフォートワースにあるシド・リチャードソン・ミュージアムにおいて、ジュネーブ以外の地では初の、パテックフィリップの現代コレクションを展示するイベントが、販売店ハルトムズとの共催により行われた。「伝説的なパテックフィリップの時計」と題されたこの1995年のイベントでは、ミュージアム展示作品に材を得た、彫金や七宝装飾による懐中時計を含む、数多くのタイムピースが特別製作された。さらに17年の後、パテックフィリップの魅力溢れる歴史を語り、著名な顧客たちを紹介



ウォッチアート・グランド・エグジビション・ドバイは、この種のイベントが求められていたことを明らかに示し、コレクターたちはヨーロッパ大陸においても同様の展示会を開催することを求めるに至った。2013年、ミュンヘンで開催された第2回ウォッチアート・グランド・エグジビションは、2万2000人の来場者を記録した。展示作品は、2点の限定製作タイムピース、七宝、彫金、木象嵌などの分野におけるパテックフィリップの工芸芸術を体現した9点の希少なハンドクラフト・モデルなど、450点以上にのぼ

パテックフィリップのアメリカとの関係は長きにわたっている。米国が同社の歴史と繁栄に大きな役割を演じてきたことはいままでもないが、パテックフィリップもまた、アメリカ人の心の中に一定の場所を得てきたのである。しかし人口3億2500万人近いこの国において、約6500キロ彼方の別の大陸にある、この家族経営の企業が誇る卓越したクラフトマンシップを、身近に体験したこのある人々がごく少数に過ぎないのは、やむを得ないことであった。1969年、パテックフィリップが、テキサス州ダラスのリンツ・プラザ・ジュエリー・ショップにおいて、ジュネーブ本店に開設されて間もないウォッチ・ミュージアム所蔵の選りすぐった歴史的タイムピースのコレクションを展示することを決定したのは、この理由からである。

し、高度な時計製作技術を解説する、ウォッチアート・グランド・エグジビションのコンセプトが生まれ、2012年、ドバイにおいて第1回グランド・エグジビションが開催されたのである。イベントは3500人の来場者を集め、展示された400点の作品は、パテックフィリップ・ミュージアム所蔵の希少なタイムピース、ワールドタイム5130モデルのリミテッド・エディション「メッカ」を含む限定製作モデル、驚嘆すべきグランド・コンプリケーション、および現行コレクションにわたっていた。

2017年ニューヨーク 希少なハンドクラフト



5089G-077 モデル
ワイオミング州シェリダンの伝統的なレザーカービング様式からインスピレーションを得たこのケース径38.6 mm、ホワイトゴールド仕様のカラトラバ「シェリダン・スタイル」は、手彫金を施し、ゴールド・ブラウンの透明な七宝で仕上げたゴールド文字盤を備える。自動巻ムーブメント、キャリバー 240 を搭載。10個の限定製作。



5089G-066 モデル
ヒンジ付カバーを備えたこのケース径38.6 mm、ホワイトゴールド仕様のカラトラバ「グランドキャニオン」は、木象嵌によりグランドキャニオンを描いた文字盤を備える。限定製作された10点の作品は、色合いと木目の異なる何百もの木片の組合せによりつくられるため、各々がユニークピースである。キャリバー 240 を搭載。



5089G-070 モデル
このホワイトゴールド仕様のカラトラバ「ロデオ」は、318個の木片と40個のインレイを使用し、ディテールにわたるロデオ風景を描いた文字盤を備える。ケース径38.6 mm、限定製作された10点の作品は、各々がユニークピースである。ヒンジ付カバーを備えたケースは、サファイヤクリスタル・バックを通してキャリバー 240 を鑑賞することができる。



992/115J モデル
「Apsaalooke Sentinels (アプサロカの哨兵)」と名づけられたこのユニークピースの懐中時計は、マーティン・グレルの絵画作品にインスピレーションを得て、河岸で見張りにあたる2人のクロウ族インディアンを七宝細密画で描いている。イエローゴールド仕様。ケース径44.1 mm。



992/116J モデル
「ナバ峡谷」と名づけられたこの懐中時計は、ワイン造りで知られた地帯を描き、遠近法の使用が七宝細密画家の高度な技術を体現している。このケース径44.1 mm、イエローゴールド仕様のユニークピースには、浅浮彫りの技法も用いられている。ゴールドの文字盤は手彫金とギヨンスエ装飾を施し、透明な七宝で仕上げられている。



992/121J モデル
「ヨセミテ深谷」と名づけられたこのユニークピースの懐中時計は、カリフォルニア国立公園の自然美を、25種類のビュアな色彩とそれをブレンドした七宝細密画により表現している。直径44.1 mmのイエローゴールド・ケースの縁には浅浮彫りとチェーシングが施され、細密画を美しく録取っている。



5089G-067 モデル
このホワイトゴールド仕様、リミテッド・エディションのカラトラバ「ジャズ」は、ニューヨークの伝説的なブルーノート・ジャズクラブへのトリビュートである。文字盤には、七宝細密画により2人の演奏者の驚くほどリアルな肖像が描かれている。ケース径38.6 mm。キャリバー 240 を搭載。10個の限定製作。



4898/1450G-010 モデル
アールテコにインスピレーションを得た、このケース径27.6 mm、ホワイトゴールド仕様、婦人用の可愛らしいハイジュエリー「パテック フィリップ・ディアプロティニス」は、合計2,059個の貴石(合計約15.08カラット)が美しい配色でセッティングされた、印象的なデザインが特徴である。



20045M モデル
「ゴールド・シーカー」と名づけられたこのユニークピースのドーム・テーブルクロックには、アメリカの西部開拓史における一章が、金と銀のバイオン(装飾小片)を含むクロワソネ七宝により生き生きと描かれている。デリケートな色合いの78色の釉薬により描かれた風景の中に、砂金を選別する探鉱者たちが見える。



992/122G モデル
この「野生馬」と名づけられたケース径44.1 mm、ホワイトゴールド仕様、ユニークピースの懐中時計は、疾走する野生馬の群れをエネルギッシュなタッチで描く。釉薬を何層にも重ねたクロワソネ七宝により、各々の馬の筋肉や毛皮、表情に至るディテールを細密に表現している。ケースの縁には手彫金が施されている。



993/101G モデル
「マンハッタン・ブルックリン」と名づけられたこのユニークピースの懐中時計は、クロワソネ七宝により2つの著名な高層ビル風景を描き、七宝細密画による詳細なディテールを加えている。直径44.1 mmのホワイトゴールド・ケースの環(懐中時計のリユウスの部分にある、鎖をつける環)にはアール・デコ様式のモチーフが刻まれ、チェーシングにより仕上げられている。



995/102G モデル
「月面への第一歩」は、ニール・アームストロングの歴史に残る写真を再現している。人物と背景を木象嵌、空と月から見た地球、およびバズ・オールドリンのヘルメットのバイザーを七宝細密画により描く。このケース径44.1 mm、ホワイトゴールド仕様の懐中時計はユニークピースである。



20047M モデル
「夜のブルックリン橋」と名づけられたこのユニークピースのドーム・テーブルクロックには、金粉および金と銀のバイオンで深みを与えられたグリザイユ七宝が用いられている。今日きわめて希少なこの七宝技術は、黒や青の釉薬による地の上に、白リモージュ(Blanc de Limoges)と呼ばれる白色の釉薬を用い、細い筆や針の先

で暗色から白に至るデリケートなモノクロームのモチーフを描き、金粉でディテールを加える。夜光指針を配したクロワソネ七宝の文字盤は、グランド・セントラル駅の時計を模している。



992/111G モデル
このユニークピースの懐中時計「ピッツバーグ」の手彫金によるエレガントなモノクロームのモチーフは、ピッツバーグを流れる川の風景を描き、アメリカ工業史上重要なこの都市へのトリビュートとなっている。昔の版画の効果を再現するため、線彫りの手法が用いられている。ホワイトゴールド仕様。ケース径44.1 mm。



995/107G モデル
この「アメリカ・インディアンの肖像」と名づけられたケース径44.1 mm、ホワイトゴールド仕様の懐中時計のデザインは、アメリカ先住民へのオマージュである。20種類の突板(薄くスライスした木)からカットされた304個の木片と60個のインレイを用い、木象嵌により微細なディテールを描く。ベゼルとケースバックの縁には手彫金による幾何学模様が施され、青緑色の七宝と32個のトライアングルカット・ダイヤモンドにより装飾されている。



995/108J モデル
この「白頭鷲」と名づけられたケース径44.1 mm、イエローゴールド仕様のユニークピースの懐中時計の蓋には、偉大なアメリカ合衆国の強さと威厳の象徴、白頭鷲が希少な木象嵌の技法により描かれている。15種類の突板からカットされた、色合いの異なる微細な271個の木片と40個のインレイが用いられている。



995/109G モデル
この「ラッシュモア山」と名づけられたケース径44.1 mm、ホワイトゴールド仕様の懐中時計は、荒れ模様の空と背景を七宝細密画、4人の大統領の顔を浅浮彫りにより描く。環には手彫金が施され、チェーシングにより仕上げられており、ブリオレットカットのブルー・サファイヤがリユウスにセッティングされている。

た。またこのイベントを記念し、ワールドタイム5130モデルのリミテッド・エディション「ミューンヘン」、および同市恒例のオクトーバーフェストを描いたクロワゾネ七宝のドーム・テーブルクロックが創作された。

今日、パテックフィリップのグラランド・エグジビションは、高級時計の愛好家、コレクターのみならず、広く一般に知られるようになり、待望される一大イベントとなった。2015年、ロンドンの著名なサーチ・ギャラリーで開催した第3回ウォッチアート・グラランド・エグジビションは、多数のテーマ・エリアに分けられた約1700平方メートルの展示スペースに、450点の例外的なタイムピースが展示された。

このイベントではパテックフィリップのすべての現行ムーブメントが一堂に集められ、王室のタイムピース・コレクションが注目を浴びた。またチャイム機構など20の複雑機能を備えた、ダブルフェースの世界で最も複雑な腕時計グラランドマスター・チャイム5175モデル（7点のみ製作）をはじめとする、パテックフィリップ創業175周年記念タイムピース（2014年）、さらに限定製作モデル「ロンドン・モニュメント」、およびイギリスの伝統的な花紋の七宝装飾を施したユニークピースの懐中時計「チューダーローズ」が展示された。空前の来場者を集めたイベントは、それまでで最大の成功を収めたウォッチアート・グラランド・エグジビションとなった。そしてパテックフィリップは、ますます名声の高まるこの展示会を2017年7月、再びアメリカに立ち戻らせることを決定したのである。開催地としては163年前、アントワーヌ・ノルベール・ド・パテックが新大陸に事業を拡大するため、初めてアメリカの土を踏んだ記念すべき都市、魅力溢れるニューヨークに白羽の矢が立てられた。ウォッチアート・グラランド・エグジビション・

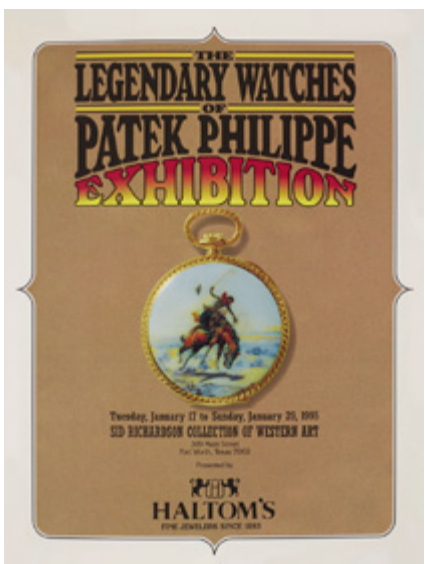
ニューヨークは、会場となった42番街のイベントホール、チプリアーニのルネサンスにインスピレーションを得たそびえ立つ大理石の柱、高い天井、壮大な象嵌細工の床、輝くシャンデリアなどと完璧にマッチしており、設計プラン、デザイン、コンテンツの傑作といえよう。「チャレンジは、チプリアーニにパテックフィリップの世界を再現することでした。チプリアーニを知る人々は、会場に入って我が目を疑いました。誰にとってもこのような経験は初めてだったので」とパテックフィリップのティエリー・スターン社長は語る。

「このようなイベントの開催は、真心を込めて行わねばなりません。そのため、入場は無料となつています。誰もが文化を享受する機会を与えられるべきです。それは、スイスの家族経営の企業が美しい時計をつくっていることを人々に知ってもらう貴重な機会でもあります」。

準備に2年間を費やしたこのイベントは、希少なハンドクラフト・ギャラリー、現行コレクション・ルーム（2017年）、パテックフィリップのムーブメント・ルーム、グラランド・コンプリケーション・ルーム、ミュージアム・ルーム（16〜19世紀のオールド・タイムピース、および1839年〜1989年のパテックフィリップの歴史的タイムピースの合計104点）など、10の展示ルームから構成されている。

しかし来場者を最も楽しませたのは、パテックフィリップ・ジュネーブ本店のナポレオン3世様式による歴史的サロンを再現し、著名なレマン湖と大噴水の風景をヴァーチャル映像で見せるナポレオン・ルーム、およびアメリカ史ルームである。

アメリカ史ルームには、アメリカの偉人たちにゆかりのある24点のタイムピース（パテックフィリップ・ミュージアム所蔵）が展示された。ジュ



ネーブ以外の地で同時に展示されたパテックフィリップ・ミュージアム所蔵作品の数は、今回、これまで最高の合計128点となった。これらに加え、野球界のスター、ジョー・デイマジオの時計とジョン・F・ケネディの卓上クロックが特別貸与された。その他のハイライトには、ジョージ・ワシントンの肖像画の入った懐中時計、ジャズ界の伝説デューク・エリントンのスプリット秒針クロノグラフ1563モデル、および自動車のクルーズコントロールシステムを発明した盲目の発明家ラルフ・ティーターが所有した1920年代のミニット・リピーターがある。

だがニューヨークのグラランド・エグジビションを記念して特別製作され、ナポレオン・ルームに展示された限定製作のタイムピースは、多数の来場者を完全に魅了した。

その中のスターは、疑いもなくミニット・リピーターとワールドタイムという、パテックフィリップの著名な2つのコンプリケーション機能を共に搭載した5531モデルである。この卓越したタイムピースの文字盤は、開催地へのオマージュとなっている。10個のみ限定製作され、その半数は昼間、残りの半数は夜間のマンハッタン高層ビル風景をクロワゾネ七宝で描いている。

ティエリー・スターンは続ける。「エグジビションの目的は、人々に喜びを与え、事実を知らせることです。パテックフィリップのアメリカにおける長い歴史を実証することも重要です。ワールドタイム・ミニット・リピーターという、まったく新しいムーブメントをここで発表したこと、国にいかんが忠実であり続けているかを示しています。今ひとつのワールドタイム、5230モデルは、ホワイトゴールド・ケースに、マンハッタンスカイラインをエンボス加工により描いたブルー・オパール文字盤を配し、300個の限定製作である。これとペアをなす婦人用ワールドタイム7130モデルは、ホワイトゴールドおよびローズゴールド仕様があり、各々75個の限定製作となる。

600個限定製作の驚くほどシンプルなデザインのカラトラバ・パイロット5522モデルは、通常、スポーツウォッチの代名詞であり、パテックフィリップが希にしか採用しない素材である、ステンレススチール仕様である。ウォッチアート・グラランド・エグジビションニューヨークのために特別製作された他の3モデルは、いずれも婦人用である。カラトラバ7200/50モデルは、ホワイトまたはブルーのマザール文字盤を配し、各々75個の限定製作である。またわずか3個限定製作のレディス・ファースト・ミニット・リピーター7200/250モデルは、

ホワイトゴールド・ケースに青七宝文字盤を配し、ベゼルにはパテックフィリップ独自のフラム・セッティングによりダイヤモンドがセッティングされている。5531モデル同様、「Patek Philippe New York 2017」と刻印されたサファイヤクリスタルバックと通常のケースバックが共に付属している。希少なハンドクラフト・ギャラリーには、今ひとつの婦



製作は、「Patek Philippe London 2015」の刻印入りのヒンジ付カバーを備えている。ロンドン・エグジビションではこの他、グリサイユ七宝によりシンディーを描いたケース径38.6 mmのユニークピース、カラトラバ5089Gモデル「ロンドン・モニュメント」、およびイギリスの伝統的な花紋をクロワゾネ七宝により描いたユニークピースの懐中時計992/102モデル「チューダーローズ」が創作された。

【次ページ】（左）1995年、テキサス州のフォートワースで開催された展示会「伝説的なパテックフィリップの時計」のために特別製作された懐中時計は、米国の画家シド・リチャードソンの絵画「暴れ馬」（1904年）からインスピレーションを得た七宝細密画により装飾されている。（右）2017年のパテックフィリップ・ウォッチアート・グラランド・エグジビション・ニューヨークの広報ポスターのひとつ。

人用モデルが展示された。ハイジュエリー「パテックフィリップ・ディアプロティエヌ」4898/1450G・010モデルである。この他、パテックフィリップの米国の絆からインスピレーションを得た、いくつもの卓越したタイムピースがある。カラトラバ5089G・066および5089G・070モデルは、木象嵌による文字盤を配し、それぞれグラランドキャニオンと、ディテールにわたるロデオ風景を描いている。さらに七宝細密画、手彫金をそれぞれ施した2つのカラトラバ・モデルがこれに加わる。

アメリカン・スピリットを象徴するユニークピースには、この他2点のドーム・テーブルクロックがある。ひとつは夜のブルックリン橋をグリザイユ七宝で描き、グラランド・セントラル駅の時計を模した夜光指針付の文字盤を配している。今ひとつはゴールドラッシュ時代をクロワゾネ七宝で再現している。

エグジビションのために特別製作された10点のユニークピース懐中時計としては、先ずラシュモア山風景、マンハッタンとブルックリンの高層ビル風景、および手彫金とクロワゾネ七宝により野生馬の群れを、ほぼモノクロームのデリケートなタッチで描いた作品が挙げられる。「ピッツバーク」のケースには、手彫金によりこの工業都市が描かれている。さらにヨセミテ渓谷、ナバ渓谷を七宝細密画により写実的に描写した2作品、および白頭鷲とインディアンという初期のアメリカ史に題材を得た2点の木象嵌によるモデル、そして馬にまたがる2人のクロウ族インディアンを七宝細密画で描いた作品がある。

最後の、おそらく最もアメリカらしいイメージは、1969年のアポロ11号による月着陸であろう。月面を歩く宇宙飛行士バズ・オールドリンを木象嵌と七宝細密画の組合せで描いている。きわめて微細なディテールまで再現されているため、オールドリンのヘルメットのバイザーに映り込んだニール・阿姆斯特朗の姿まで見ることができ、そしてこれを見逃した来場者はほとんどいなかったのである。